

令和3年度和歌山県文化功労賞

多田 佳 子

住 所 和歌山県和歌山市
出 身 地 和歌山県和歌山市
生 年 昭和14年

◎ 業績及び経歴

昭和14年和歌山市に生まれる。武蔵野音楽大学短期大学部声楽科を卒業。昭和38年から27年間、和歌山県立高等学校等の音楽教員として指導を行う。

大学卒業後の昭和37年から音楽活動を本格的に開始。リサイタルやジョイントリサイタルを多数開催し、和歌山市交響楽団の定期公演等に出演。昭和39年に和歌山市民オペラ協会（和歌山ふるさとオペラ実行委員会から改称）の前身である和歌山声楽研究会を設立。以来、代表として数々の定期公演に出演、国内外の著名なアーティストを招聘するなど、本格的なオペラ文化を和歌山に根付かせるための活動を50年以上の長きにわたり情熱をもって行ってきた。

和歌山市民オペラ協会の公演実績は令和3年現在で60回に及ぶ。平成8年及び10年には県外で開催された国民文化祭に参加し活動の場を広げたほか、令和3年開催の紀の国わかやま文化祭2021では、氏プロデュースによる新作オペラ「稲むらの火の物語ー 梧陵と海舟」を上演。氏の演出による上演作品は「『清姫』一渡し場の段ー」、「魔笛」、子供向けオペラとしての「シンデレラ」など多岐にわたり、企画・演出・自身の出演のほか、若手の指導にも尽力し、多くの声楽家が育つ場を築き上げている。

また、和歌山県・一般財団法人和歌山県文化振興財団が主催する和歌山県新人演奏会の声楽部門の審査に20年以上携わり、和歌山市・和歌山市教育委員会・ニュース和歌山主催の和歌山音楽コンクールの声楽部門審査員を昭和63年より22年間務め上げた。

子供達を対象としたオペラの舞台体験のワークショップや、唱歌を歌いながら学ぶ「唱歌の学校」の開催、音楽療法研究会理事長としてのボランティア活動など、氏の音楽を通じた貢献の対象は幅広い世代にわたる。

人々に音楽の素晴らしさを伝え、本県に上質のオペラを根付かせる氏の功績は、誠に多大である。

■ 現 在

- ・ 声楽家
- ・ 和歌山市民オペラ協会会長
- ・ 和歌山文化協会洋楽部部長
- ・ 公益社団法人日本演奏連盟会員
- ・ 全日本オペラネットワーク運営委員

◆ 主な表彰歴等

- 平成23年 和歌山県社会福祉功労賞
- 平成29年 和歌山県知事表彰
- 令和元年 和歌山市文化功労賞